



# Application Services Engine からのアップグレード

- [前提条件とガイドライン](#) (1 ページ)
- [Application Services Engine からのアップグレード](#) (2 ページ)

## 前提条件とガイドライン

既存の Cisco Application Services Engine リリース 1.1.3 クラスタを Cisco Nexus ダッシュボードにアップグレードする前に、次の手順を実行します。

- アップグレードに影響する可能性のある動作、ガイドライン、および問題の変更については、ターゲット リリースの [リリース ノート](#) を必ずお読みください。
- Cisco Application Services Engine リリース 1.1.3d を物理アプライアンスとして実行している必要があります。

すでに Cisco Nexus ダッシュボードを実行している場合は、代わりに [Nexus ダッシュボードのアップグレード](#) に記載されている手順に従います。

Application Services Engine の以前のリリースからのアップグレードはサポートされていません。このドキュメントの前の章で説明されているように、新しいクラスタを展開する必要があります。

Application Services Engine が VMware ESX、Linux KVM、または Amazon Web Services に展開されている場合は、Nexus ダッシュボードにアップグレードできません。

- アップグレードプロセスは、すべての Nexus ダッシュボードフォーム ファクタで同じです。

物理サーバー、VMware ESX OVA、または Azure または AWS クラウドを使用してクラスタを展開したかどうかに関係なく、ターゲット リリースの ISO イメージを使用してアップグレードします。

- 現在の Application Services Engine が正常であることを確認します。

- 既存の Application Services Engine クラスタに無効なアプリケーションがある場合は、それらを削除してから Nexus ダッシュボードにアップグレードすることをお勧めします。
- Application Services Engine クラスタで Multi-Site Orchestrator アプリケーションを実行している場合は、クラスタを Nexus ダッシュボードにアップグレードする前にアンインストールする必要があります。  
  
Nexus ダッシュボードで実行している Multi-Site Orchestrator への移行は、プラットフォームのアップグレード、アプリケーションのインストール、設定の復元、クラウドサイトのアップグレードなど、複数の手順で構成されます。『[Multi-Site Deployment Guide](#)』の「[Migrating Existing Cluster to Nexus Dashboard](#)」の章で説明されている MSO 移行手順に従うことを強く推奨します。
- Nexus Dashboard リリース 2.0.2 にアップグレードした後は、すべてのアプリケーションを最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。
- Nexus Dashboard リリース 2.0.2 からのダウングレードはサポートされていません。

## Application Services Engine からのアップグレード

ここでは、既存の Application Services Engine リリース 1.1.3d クラスタを Nexus ダッシュボードにアップグレードする方法について説明します。

### 始める前に

- で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。 [前提条件とガイドライン](#)

**ステップ 1** Nexus Dashboard イメージをダウンロードします。

- a) [Software Download] ページを参照します。

<https://software.cisco.com/download/home/286327743/type/286328258>

- b) 左側のサイドバーから、ダウンロードする Nexus ダッシュボードのバージョンを選択します。

- c) Cisco Nexus ダッシュボード イメージ (nd-dk9.<version>.iso)。

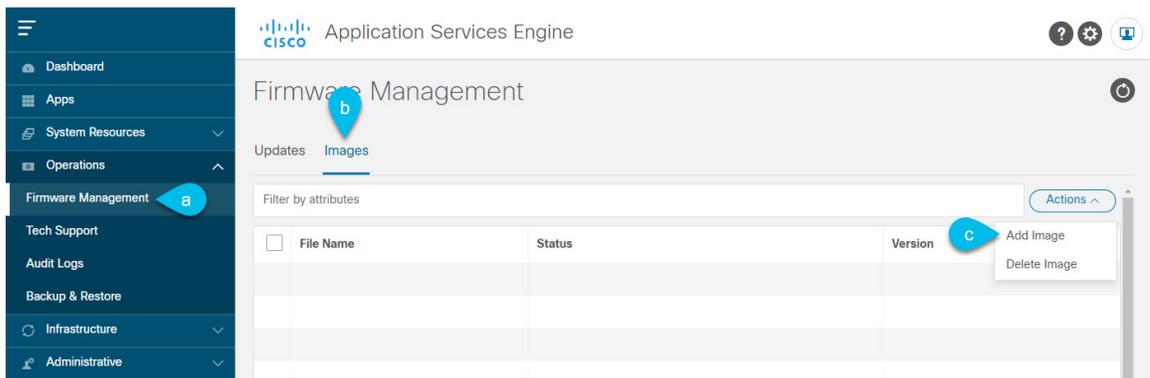
(注) 最初のクラスタ展開に VMware ESX.ova イメージまたはクラウドプロバイダーのマーケットプレイスを使用した場合でも、すべてのアップグレードで .iso イメージをダウンロードする必要があります。

- d) (任意) 環境内の Web サーバーでイメージをホストします。

イメージを Nexus Dashboard クラスタにアップロードする際に、イメージに直接 URL を指定するオプションがあります。

**ステップ 2** 現在の Application Services Engine GUI に管理者ユーザとしてログインします。

**ステップ 3** 新しいイメージをクラスタにアップロードします。



- [**Operations (オペレーション)**] > [**ファームウェア管理 (Firmware Management)**] に移動します。
- [**イメージ**] タブを選択します。
- [**アクション (Actions)**] メニューから、[**イメージの追加 (Add Image)**] をクリックします。

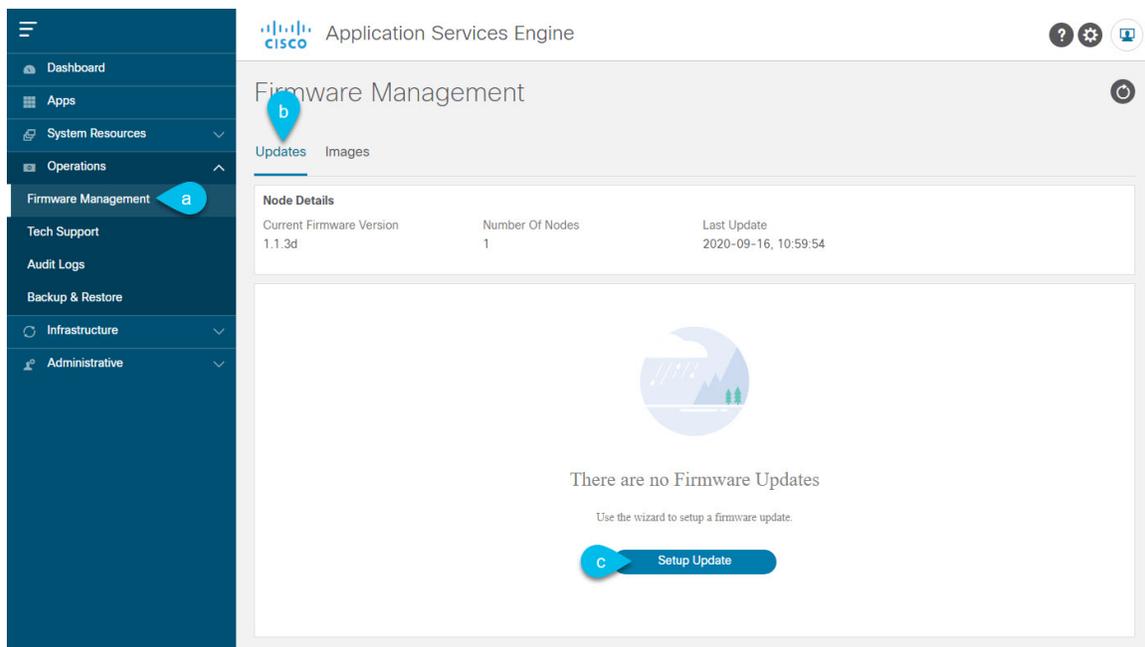
**ステップ 4** 新しいイメージを選択します。

- [**ファームウェア イメージの追加 (Add Firmware Image)**] ウィンドウで、[**ローカル (Local)**] を選択します。  
または、ウェブ サーバでイメージをホストした場合は、代わりに [**リモート (Remote)**] を選択します。
- [**ファイルの選択 (Select file)**] をクリックし、最初の手順でダウンロードした ISO イメージを選択します。  
リモートイメージのアップロードを選択した場合は、リモートサーバ上のイメージのファイルパスを指定します。
- [**アップロード (Upload)**] をクリックして、イメージを追加します。  
イメージが Application Services Engine クラスタにアップロードされ、展開されて処理され、アップグレードに使用できるようになります。プロセス全体に数分かかる場合があります、[**イメージ (Images)**] タブでプロセスのステータスを確認できます。

**ステップ 5** イメージステータスが「ダウンロード済み」に変わるのを待ちます。

イメージでイメージのダウンロードの進行状況を確認できます。

**ステップ 6** 更新を設定します。



- a) [Operations (オペレーション)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] に移動します。
- b) [更新] タブを選択します。
- c) [更新のセットアップ (Setup Update)] をクリックします。

#### ステップ7 更新の詳細を入力します。

- a) [バージョンの選択 (Version Selection)] 画面で、アップロードしたファームウェアバージョンを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- b) [確認 (Confirmation)] 画面で詳細を確認し、[インストールの開始 (Begin Install)] をクリックします。

インストールの進行状況ウィンドウが表示されます。更新中は、この画面から移動できます。後で更新ステータスを確認するには、[ファームウェア管理 (Firmware Management)] 画面に移動し、[最終更新ステータス (Last Update Status)] タイルで [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

#### ステップ8 新しい画像をアクティブにします。

- a) [オペレーション (Operations)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] 画面に戻ります。
- b) [最終更新ステータス (Last Update Status)] タイルで、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- c) [Activate] をクリックします。
- d) [アクティブ化確認] ウィンドウで、[続行] をクリックします。

すべてのクラスタサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。